

第48回

合唱祭

どうにか

無事開催

6月の11、12日と25、26日の土曜、日曜4日間に亘り「第48回神奈川県合唱祭」が、神奈川県立音楽堂を会場に開催された。189団体と言う過去最大の参加団体を迎えて、全国的にも最大級の合唱祭であるが、その規模の大きさにより、限界を囁かれている中でのギリギリの運営で成り立っていることが改めて浮き彫りになっているようだ。

第48回神奈川県合唱祭報告

合唱祭実行委員長 田中実

「ガン！今のイエローカード何枚目？」「4日間合せて5枚目だよ！」こんな会話で締めくくった第48回神奈川県合唱祭が、過去最多の189団体4,600名の参加をいただき、6月11・12・25・26日の4日間に亘って開催されました。

講師には、大志万明子、岸信介、清水雅彦、洲脇光一、信長貴富、宮寺勇の6名の先生をお迎えしました。

4月に急逝された神奈川県合唱連盟顧問・関屋晋先生を偲び、毎日の最後にモーツァルトのアヴェ・ヴェルム・コルプスを会場全員で合唱し、追悼合同合唱としました。初日には、直前に東の空に大きな虹がかかり、関屋先生が大好きだったモーツァルトが、清水雅彦先生の指揮で会場を優しく包み込みました。

今年も色々なイベントをはさみながらの合唱祭でした。主なイベントの結果を報告いたします。



カノン50号主な内容

- ・関屋先生追悼 / ・合唱祭報告
 - ・おかあさんコーラス関東大会結果 他
 - ・コンサートガイド
- 巻末特集「世界合唱シンポジウム」

「イエローカード」

一昨年の奇跡(タイムオーバーなし)は無残にも打ち砕かれました。4日間で5団体。来年は、イエローカードの出し方を変更。“タイムオーバーの時点で掲示、そのまま演奏終了まで舞台上で掲示し続ける”にしたいと思います。皆さんご注意ください。

「きりく・ハンドベルアンサンブル」

6/25(土)

天使のハーモニーと呼ばれるハンドベルの演奏が25日(土)の午後に行なわれました。

ハンドベル界のトップ演奏者として世界的に評価の高い大坪泰子さん率いる、6名のハンドベルアンサンブルです。わずか6名で5オクターブ半(68個・最大のベルの重さは4kg)のベルを自在に操る様と、その音色とハーモニーは想像を遙かに越えるものでした。4個を同時に手に持って演奏したり音をさせたまま隣に手渡したり「ずいずいずっころばし」では、机に置いたままで叩いてみたりと様々なテクニックを駆使しての演奏でした。

私、下手袖で舞台を見ていました。ベルを持った12の白い手袋が正確な螺旋(ラセン)を描いてこちらに押し寄せたかと思うと、素晴らしい勢いで戻っていく。この螺旋の連続に、この楽器のハーモニーの秘密があるのかと思いました。



素晴らしいハーモニーに満場が酔いしれた、ハンドベルの演奏

最後のアヴェ・マリア(シューベルト)の演奏に立錫の余地も無い満員の会場は酔いしれ、惜しみない拍手が鳴り止みませんでした。来年も又、演奏をしていただく予定です。どうぞお楽しみに。

「作曲家コーナー・信長貴富」

6 / 12 (日)

昨年の「作曲家コーナー・木下牧子」に続き、若手作曲家として大活躍中で、講師にもお呼びした信長貴富コーナーには、6 団体が出演しました。当初は1 団体づつコメントをいただく予定でしたが、こちらの手違いで6 団体まとめでの全体講評になってしまいました。申し訳ございませんでした。

来年は「作曲家コーナー・大熊崇子」を予定しております。多くの合唱団の参加をお待ちしております。

「中学高校生合同合唱」

6 / 11 (土)

毎年この合同合唱を楽しみに中高生がこのステージに集合します。今年も100 人を超える中高生が集いました。指揮を当連盟理事長の桑原先生にお願いし、演奏曲目も信長先生編曲の無伴奏混声合唱による日本名歌集「ノスタルジア」より、花・里の秋・故郷の3 曲を演奏しました。演奏終了後、信長先生からのコメントをいただき、歌い終わった生徒さんの嬉しそうな顔が印象的でした。

「公開レッスン・岸信介」

6 / 26 (日)

今年の公開レッスンは、指揮は岸信介先生、横浜ルミナスコールがモデル合唱団でした。今年度コンクールの課題曲「象の鼻」(「キリンの洗濯」高階 杞一 詩/堀内真晃 曲より)を課題曲として、昼休憩の30 分間、岸先生の精力的なレッスンが続きました。この日は日中の最高温度が30 度を超える暑さ、レッスンを終えた岸先生は汗びっしょり。来年の公開レッスンは、土曜日に開催の予定ですので、高校の皆さんの参加をお待ちしています。



合唱祭恒例の全員合唱「Ave verum corpus」。今年は4 日間通して関屋先生にささげられた。

伊集院先生の指揮で横浜オラトリオ協会合唱団とともに

「パフォーマンス・リーゼズ」

6 / 26 (日)

リーゼズ(理事ズ)。読んで字のごとく神奈川県合唱連盟の理事で作った合唱団です。

指揮は、理事の中でも(本物の?)指揮者ではないだだの理事が行ないます。今年は、日立コール・システム・プラザの田中勝です。演奏曲目は、「さっちゃん」「犬のおまわりさん」それと会社の宣伝も忘れずに「この木なんの木(日立の樹)」の3 曲でした。岸、洲脇、宮寺の3 人の講師の先生方も飛び入りで舞台に乗ることとなりました。男声が少し多いのが気になる総勢23 名の合唱団の演奏は、どうか無事に終了することが出来ました。観客の温かな拍手に田中理事の顔が安堵の表情に、舞台の私達もほっと胸をなで下ろしました。この日に向けて、指揮のレッスンに通い、リハーサルを繰り返して、理事長の桑原先生、副理事長の田中、平井先生を合唱団に加えての初めての大きな舞台。きっといつまでも彼の心に残る事でしょう。



急遽参加が決まった講師陣の前に、汗だくで指揮をする田中理事の棒で「この木なんの木」を歌うリーゼズ



合唱祭では、他にも、コスチュームファッションショー等いくつかの楽しいイベントを行なって皆様の参加をお待ちしておりますが、今年は少し気になった現象が多く見られました。それは、「私、更衣が終わったのですが、何処へ行ったらいいいのかわからない」とウロウロしている合唱団員が大勢いたと言う事です。事前に合唱団で説明していただくのは勿論ですが、タイムテーブルにもなっている合唱団の動線が少し複雑になってきた事も原因の一つの様です。来年は、ここの部分の改善も検討して、より良い合唱祭を目指してまいります。

来年の合唱祭は、6月3・4・17・18日の開催となります。よろしくお願ひいたします。

合唱祭実行委員長 田中実

(この稿の写真=フォトライフ)

コスチューム・ファッションショー・モデルズ

カラー写真でないのが残念だが、合唱団の仲間に冷やかされつつも、十分になりきって楽しんでいる様子がとても美しい。来年も開かれるようなのでモデル募集には奮って応募してはどうだろうか？

(写真=フォトサービス・ワン提供)



おかあさんコーラス 関東大会結果

おかあさんコーラス実行委員長 比企野和佳

梅雨明けを間近に控えた7月9日(土) 10日(日)の2日間にわたり、千葉県の千葉県立文化会館で第28回全日本おかあさんコーラス大会関東支部大会が開催されました。関東支部9県から106団体が参加して歌声を競い合いました。本県連盟からは10団体が出場し、その内3団体が優秀賞に輝きました。

優秀賞受賞団体のうち抽選の結果2団体が8月に長崎県で行なわれる全国大会に出場する権利を得ました。

本県代表の成績は以下の通り。

優秀賞 女声合唱団クール・クロア、ボカ・グランデ

以上2団体が全国大会へ

優良賞 鎌倉さくらコーラス
ママ・マルベリー、
女声合唱団 葦芽(あしかび)、
シュタイン・フォー、
コール・なかはら、
逗子女声合唱団

大会賞 コール・プルメリア、
緑フラウエンコール

選考委員は次の方々。

大熊崇子(作曲家)、片山みゆき(指揮者)、
梅山登(新潟県合唱連盟理事長)、
菅又偉雄(群馬県合唱連盟副理事長)

夏の合唱講習会 瀬山先生シリーズ第3回 ～日本語を歌う言うと～

7月3日(日)、今年度の夏の合唱講習会が本郷台アースプラザにおいて開催されました。今回はシリーズ3回目となる『美しい日本語のための発音と発声』で、講師はもちろん瀬山詠子先生です。前半は北鎌倉女子学園コーラス部(小沢美和先生指揮)に受講合唱団としてご出演をいただいて、歌(「わたしは風」から。新川和江詩/木下牧子曲)を題材に、詩の読み方、日本語の文法的構造とそれに伴う楽譜の解釈と演奏法を一小節一小節丁寧に教えていただきました。

高校生と言う若い受講生を前に、マイク無しの熱心なご指導は、相変わらずエネルギーで、分かりやすく、会場を埋めた受講者の皆さんも、熱心に聞き入っていました。



日本語で歌うときの発声上の難しいところと、その解決法について、いくつかの指針を教えていただいたのはとても参考になりました。幾らかでも発声をカジツタ人なら、日本語の曲での実践の際に悩みの一つになっていることについての助言は心強かったのではないのでしょうか？

この折角の素晴らしい講習会も、今回は時期が少しだけ早かったことなどのせいか会場には空席が目立ちました。前回までの2回で日本語の発音は大丈夫だと早合点した人もいたのでしょうか？

各合唱団には参加募集のチラシが配られているはずですが、この「カノン」もそうですが、そうした県連からの回覧物はどの位団員に読まれているのでしょうか？団体ごとの応募方式に問題があるのでしょうか？女声用の課題曲だから男声の方には敬遠されたのでしょうか？

次回の講習会は1月末の予定です。内容など詳細は順次お知らせされると思います。会員各位の積極的な参加で、会場を満席に出来るといいですね。

《地域と結ぶ合唱プロジェクト》

今年もやって来た!!

岐阜・金山中学校3年生
～卒業記念CDの「大地讃頌」阿口」を熱唱～

昨年もご紹介した岐阜県下呂市の金山中学校から、3年生約70人が今年も修学旅行の途中横浜みなとみらいホールでの「卒業記念CD録音」セッションにやって来ました。昨年秋にご当地を訪問したときの記憶も暖かいうちに再会できた彼らは、最上級生として立派に成長して素晴らしい合唱を聞かせてくれました。

(このときの模様はHP「@担当日記」に詳細しています。)



修学旅行最後の半日を最高の舞台での思い出作りに費やす彼らの熱意は、本当に素晴らしい。この秋にも、再び彼らのところへ出かけてみようと考えています。まさに実りの秋、収穫の秋を迎える彼らのもとへ。

哀悼 県合唱連盟顧問

関屋 晋 先生を偲ぶ

新聞紙上その他で既に報じられているように、神奈川県合唱連盟の第3代目の理事長を8年間にわたって務められ、退任後も顧問として我々県連の精神的支柱としてご指導いただいていた指揮者の関屋晋先生が、去る4月9日、演奏旅行先の京都コンサートホールで「京都エコー&松原混声合唱団ジョイントコンサート」のリハーサル終了後に昏倒、心筋梗塞により帰らぬ人となりました。

先生の永年に渡る功績の数々は、ここで述べるまでもありませんが、先日5月4日に行なわれた追悼式典の「囲む会」に参列させていただいて改めて感じたのは、先生が合唱を如何により多くの人に楽しんでもらおうとして、考えて、行動していたかということ。そしてその思いを如何に多くの、そして素晴らしい人たちが受け継いでいくことになるのだということ。思いを継ぐべき一人としてこれからを如何にするのかということ、でした。

今回、県連として最も「関屋イズム」を継承してきた歴代の3人の理事長に特別な思いをまとめていただきましたので、謹んで掲載させていただきます。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

関屋先生

ありがとうございました

神奈川県合唱連盟・現理事長 桑原妙子

4月9日の夜、伊集院先生から「大変なことになる」とお電話を頂きました。

まさか40分前に京都で関屋先生がお亡くなりになったとは。あまりのショックに眠ることもなく夜が明けました。

5月4日の「関屋晋先生を囲む会」の人見記念講堂のステージには、桜色のプレザーやオーデコロン等も飾られ、おしゃれだった先生の一面を窺わせました。

全日本の吉村信良理事長、作曲家新実徳英先生の悼辞、三善晃先生の弔文披露等の後に、晋友会により「Ave verum corpus」が献歌されました。美しく、優しく、淋しく、あたたかく、深く響き渡るその歌声は、きっと関屋先生の心にも届いたことでしょう。

関屋先生は1982年から4期8年間、神奈川県合唱連盟理事長を務めてくださいました。その間に加盟団体は100団体も増え、「少年少女合唱団大集合」という合唱界で初めての全国大会を実現させました。

これは日本の合唱運動も少年少女から育てないと欧米並みにならない、という強い信念に裏打ちされてのことでした。今から22年前の小田原少年少女合唱隊の演奏会のプログラムに「神奈川県合唱連盟が日本一と誇りに思っていることが二つあります。一つは50団体以上のお母さんコーラスが加盟していることですが、もう一つは20団体の少年少女合唱団が参加していることです」というメッセージを頂いています。



湘南市民コーラスと「Ave verum corpus」の全員合唱

昨年開催した県連の顧問部会には、御忙しい中をご出席頂き、合唱活動プロジェクトを「全国で神奈川県連だけがやっている素晴らしい活動で、今後もっと、この輪が広がるといいね。」と喜んでくださいました。

関屋先生は、全日本合唱連盟機関紙「ハーモニ」の創成期に、村谷達也先生と飯田橋の出版社で雑誌作りのノウハウを勉強なさったこともあったそうです。合唱人のために今、何が一番必要かを考え、即実行に移すその行動力は、合唱がどれ程素晴らしいものであるかを心と体で感じていらしたからに他ならないと思います。

関屋先生の世界的なご活躍は、ご紹介するまでもなく万人の知るところです。先生の音楽が多くの人々を魅了するのは、先生の音楽への純粋な憧憬によるものとも思われます。

コンクール選択曲へのアプローチも数多く執筆していらっしゃいますが、「なによりも歌う気持ち大切に」「自分たちの味と香りを」「自分だよ自分、借り物でない自分を出せばいいんだ」「合唱は下ごしらえ。音も取れてない、声もできてないで自分の音楽はと構えられてもどうしようもない」等、等。合唱の濃いエキスが散りばめられています。

関屋先生が育ててくださった神奈川県連の歌声が、ますます盛んになることが、唯一残された私達にできることではないでしょうか？

さあ！高らかに歌い合いましょう。天国の関屋先生に届くように。

関屋先生ありがとうございました。きっと天国でも真摯に音楽と向き合っていることでしょう。心からご冥福をお祈り申し上げます。

合唱祭プログラムより転載（一部変更）

格好いい!!

関屋 讚(さん)!!

神奈川県合唱連盟・元理事長 吉田孝古磨

指揮者仲間には誰でも、関屋さんの指揮は「格好」いいという。

いや、指揮だけでなく、説得力のある真摯な対応と言動、そしてセンスのある

服装全てが格好いい。みんなの憧れだった。県合唱連盟では、山根一夫・村山拓也・関屋 晋氏の三代の理事長に、副理事長として仕えた長い間、関屋さんとの8年間は、自分にとって充分に腕を振るえた期間だった。「責任は俺がとるから、ガンガンやれ!!」。何しろ、この「よきに計らえ」の格好いい精神は、逆に、責任を持って遂行しなければと、積極的に気持ちが高揚まり、本当にやりがいのある充実したひとときを過ごさせてもらった。

この「セキヤイズム」は、合唱団の指導にも活かされていて、“その気になって声が出て、自然にうまく歌えてしまう”という秘訣につながっていたのだろうと思っている。

能力の引き出し上手は、指揮者の能力の第1に当たるといわれているが、その上、聞き上手でもあったから、指導している団員からは親爺(おやじ)と慕われていたことがとてもうらやましかった。私は勝手に兄貴(あにき)といわせてもらっていたが、あの独特な魅力ある『かすれた美声』はもう直接聴くことが出来なくなってしまった。

そして最後の最後、土俵上で逝ってしまうなんて格好すぎやしませんか。もっともっとたくさん私たちに遺してくれるものがあったのに、と残念で仕方ありません。今迄、折々にいただいていたさりげない「合唱」の“素敵な宝もの”は、改めて私の「心の小箱」に入れ直して、時々開けてみることにします。そして、合唱しているみんなにも、しっかりと見せてあげることになります。

兄貴!! 長い間ありがとう!!

(合唱指揮者 = 県合唱連盟顧問 吉田孝古磨)

遥かな師への想い

神奈川県合唱連盟・前理事長 伊集院俊光

オヤジさんとの出会いは、46年前にさかのぼる。オヤジさん31才、小生は弱冠23才、湘南市民コールの一員だった。

早稲田大学の練習場での初対面のときから今日まで、オヤジさんは、小生の師であり、また兄のようでもあった。当時、20代前半の若いわれわれは、あの小柄な身体からほとぼり出るエネルギーに圧倒され、ぐいぐいと引き込まれていったのだ。

当時から、熱病のように合唱に夢中だったわれわれは、練習だけでは飽き足らず、練習日ごとに駅前の喫茶店で終電まで語り合ったものだ。

たった一杯のコーヒーで何時間もねばり、オヤジさんを囲んで合唱談義に飽きることがなかった。

また、オヤジさんが合唱指揮者としてスタートしたばかりだったあのころ、小生はオヤジさんのカバン持ちのように、ほとんど毎日仕事先についていった。

職場の合唱団盛んになりし頃で、昼休みに練習をしていた。10人前後の小さなグループ、ピアノもなく、ア・カペラである。小生も助っ人としてバス・パートを歌わされたが、それはなんとも楽しいひとときであった。

いま思えば、当時オヤジさんについて回ったあの経験が、今日の自分の根底にあり、師の手法を自然に学びとっていたのだろう。

そんなある日、小生の人生を方向づける一言がオヤジさんの口から出た。「人生を賭けてみないか」プロの道を歩んでみないかというのである。こうして小生はプロ合唱団のメンバーから、のちに合唱指揮者への道を歩むことになる。

もうオヤジさんはいない。師として、あるいは兄として、励ましてくれることも、アドバイスをしてくれることも、あるいは褒めてくれることもなくなった。オヤジさんのことを思うたび、この喪失感にいたく打ちのめされる。

そしてつくづく思うのだ、オヤジさんあつての小生の合唱人生であったのだと。

(合唱指揮者 = 県合唱連盟顧問 伊集院俊光)



4月4日の「囲む会」では関屋先生愛用の品々が壇上に並べられた。



神奈川県合唱連盟加盟団体

コンサートガイド



6月20日までに編集室へ
お届けのあった分につい
て掲載しました。

次回締め切りは9月20日。
発行は10月11日の予定で
す。

2005年7月～

<p>7 月</p>	<p>17日 (日) 開演 14:30</p>	<p>Ensemble Now 第36回定期演奏会</p> <p>林光作品集 宗教曲小品集 聖チェーリア祝日のための荘厳ミサ曲 指揮:飛永悠佑輝 ピアノ:佐藤美保子 会場:青葉台フィリアホール 入場料:1,500円(全席自由) お問い合わせ:池田さん 044-750-3185 http://home9.higway.ne.jp/h.takamat/now.html</p>
	<p>24日 (日) 開演 14:00</p>	<p>シグナス合唱団 第27回定期演奏会</p> <p>American Feeling 2 青木雅也編曲 Be My Loveほか 混声合唱組曲「落葉松」 小林秀雄作曲 「4声のミサ」 バード作曲 懐かしのアニメヒットソング・メドレー 青木雅也編曲 ジャングル大帝ほか 指揮:青木雅也 ピアノ:鈴木聖子 宮本桂子 椎野佳奈子 ソプラノ:宮城摩理 会場:小田原市民会館大ホール 入場料:1,000円 お問い合わせ:高田さん 0465-74-7813(夜間のみ)</p>
	<p>29日 (金) 開演 18:00</p>	<p>栄少年少女合唱団 第9回定期演奏会</p> <p>宮崎駿 アニメソングシリーズから 「となりのトトロ」「カントリーロード」やさしさに包まれたなら」「いつも何度でも」他 まどさんの詩によるみつつのうた まどみちお 作詞 松下耕 作曲 他 指揮:山本由美 ピアノ:森部純子 会場:栄区民センター リリス 入場無料 お問い合わせ:石川弥生さん 045-891-3295</p>
	<p>30日 (土) 開演 16:00</p>	<p>金沢少年少女合唱団 第33回定期演奏会</p> <p>ア・カペラの響き「ずいずいずっころばし」「きりこ」夢見たものは」他 オルガンの調べ「Missa secunda」コチャール 作曲 ピアノとともに「元気に笑え」「tomorrow」「おかあさん」他 指揮:平井保 ピアノ:佐藤真澄 賛助出演:コール・ミュゼリス 会場:横須賀芸術劇場 ベイサイトポケット 入場料:1,000円 お問い合わせ:鈴木規子さん 0467-57-6762</p>

8 月	27日 (土) 開演 16:00	<p>ゆりがおか児童合唱団 第29回定期演奏会 (創立35周年記念)</p> <p>「Sound the Trumpet」Hパーセル作曲 ほか 世界のなぞなぞから 林光作曲 秋来ぬと」柴田南雄作曲 シアターピース「ふしぎの国から」高橋悠治作曲 演出 振り付け 石井かほる ピアノ 高橋悠治 指揮 :山田榮子 ピアノ 和田良枝 箏 西 陽子 会場 :麻生市民館ホール 入場整理券 お問い合わせ :山田さん 03-3955-7182 ekofbra@jemailne.jp</p>
9 月	10日 (土) 開演 14:00	<p>男のコーラス・ドッグウッド・コンサート~ 男が歌う世界の名曲 ~</p> <p>「お楽しみクラシックメドレー」青木雅也編曲 懐かしの日本の歌メドレー」ほか 青木雅也編曲</p> <p>指揮 :青木雅也 ピアノ :鈴木聖子 会場 横浜市青葉公会堂 入場料 :1,000円 お問い合わせ :オフィスバルーン 045-901-9914 (平日・土曜 9:00~ 18:00)</p>
	10日 (土) 開演 14:00	<p>コーロ・ブリランテ 40周年記念演奏会</p> <p>童話絵巻より 岩河三郎編曲 みすずこのみちより 金子みすゞ作詩 鈴木憲夫作曲 光る砂漠より 矢澤宰作詩 萩原英彦作曲 女声合唱組曲」早野柳三編曲 「フィガロの結婚序曲」セヴィリアの理髪師序曲」</p> <p>指揮 :岡田有弘 ピアノ 押川涼子 会場 :県立音楽堂 入場料 :1,000円 お問い合わせ :水谷松子さん 045-431-1630</p>
	11日 (日) 開演 14:00	<p>大船混声合唱団 第10回記念定期演奏会</p> <p>戴冠ミサ」W A Mozart作曲 般若心経考」田頭喜久弥作曲 美しく碧きドナウ」J Strauss作曲 皇帝円舞曲」J Strauss作曲 ほか</p> <p>指揮 :児島百代 浦畑裕一 ピアノ 坂元陽子 オーケストラ 第10回定演記念管弦楽団 ソプラノ 浦畑博美 読経、朗読 朝比奈正 (円覚寺)</p> <p>会場 鎌倉芸術館大ホール 入場料 :1,500円 (学生 500円 全席自由)</p> <p>お問い合わせ :柴谷浩二さん 0467-32-6305</p>
	16日 (金) 開演 19:00	<p>女声合唱団 ステラマリス 演奏会</p> <p>モテット集 「Missa Pro juventute」JW Ziegler作曲 女声合唱のための組曲 愛するものためにうたう歌より 松下耕作曲 「27の同声合唱曲集より」Bartók Béla作曲</p> <p>指揮 :田村茂 会場 :リスホール 入場料 :1,000円 お問い合わせ :十亀 (そがめ) 真理さん 045-785-1227</p>

9 月	19日 (月・祝) 開演 14:00	厚木ジュニアコーラス 第3回演奏会 日本のわらべうたから 「ほたるこい」 烏かねもん勘三郎 ほか 世界のうた 野ばら」 赤いサラファン ほか モーツァルトの百面相 山川啓介作詩 鈴木輝昭作曲 ウィーンの森の物語 堀内敬三作詩 ヨハン・シュトラウス作曲 ディズニー名曲メドレー 守山英樹編曲ほか 指揮 清澤伊知子 ピアノ 本間有紀 会場 厚木市文化会館 小ホール 入場料 : 1,000円 (高校生以下 500円) お問い合わせ 井上允さん 046-241-7976
	19日 (月・祝) 開演 14:30	戸塚混声合唱団 創立20周年 第11回演奏会 日本抒情歌曲集 より 林光編曲 混声合唱とピアノのための 動物詩集」 白石かずこ作詩 三善晃作曲 「ドイツ・レクイエム」 プラームス作曲 指揮 星野聡 ピアノ 矢野円佳 管弦楽 鎌倉交響楽団 ソプラノ 星野尚子 バリトン 成田眞 会場 鎌倉芸術劇場大ホール 入場料 : 1,500円 (全席自由) お問い合わせ 清水裕子さん 045-802-0448
	22日 (木) 開演 19:00	クライネル・シャッツ 第3回 宝の小箱 コンサート 邦人作品 のたからもの 佐藤真 中田喜直 福井文彦 寺島尚彦 作品 世界の名曲』クラシック Gカッチーニ 「Ave Maria」ほか 指揮 吉田孝古磨 ピアノ 宮怜子 会場 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料 : 1,000円 お問い合わせ 西井義二さん 045-362-1714
	25日 (日) 開演 17:00	上大岡混声合唱団 第39回定期演奏会 Mozart 「Kyrie」 「Regna coeli」 「Misericordias Domini」 モーツァルト作曲 邦人名曲集 春に」 「トピリカ」 思い出の子守歌」 「エル・ビト」ほか 中村皇編曲によるカンツォーネ曲集 指揮 : 中村皇 ピアノ 押川涼子 会場 県立音楽堂 入場料 : 1,000円 お問い合わせ 小室良子さん 045-780-3736
	30日 (金) 開演 19:00	JOY Singers 2nd Concert 「27の合唱曲集」より バルトーク作曲 鈴木憲夫作品集 空の名前」 信長貴富作曲 映画の世界 指揮 : 安達陽一 ピアノ : 中野正子 会場 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料 : 1,000円 (全席自由) お問い合わせ 斎藤さん 045-433-4381

<h1 style="font-size: 2em;">10月</h1>	2日 (日) 開演 14:00	<p>横浜室内アンサンブル 東京混声合唱団横浜市特別演奏会 混声合唱とピアノのためのふるさとの星 (2001) 谷川俊太郎作詩 一柳慧作曲</p> <p>「追分節考」 柴田南雄作曲 「The Grass」 ホイットマン作詩 寺嶋陸也作曲</p> <p>指揮 : 山田和樹 ピアノ : 田島葉子 ヴィオラ : 富田大輔 尺八 : 関一郎 会場 : 県立音楽堂 入場料 : 3,000円 (小学生以下 1,500円) お問い合わせ : 尾川義雄さん 0422-46-4890</p>
	8日 (土) 開演 13:30	<p>おたまじゃくしの会 30周年記念演奏会 「みすゞの旅」 金子みすゞ作詩 横山裕美子作曲 「白と黒のエスキス」 三浦真理作曲 その他</p> <p>指揮 : 武田雅博 ピアノ : 淵上千里 木村祐平 会場 : 横浜みなとみらいホール 大ホール 入場料 : 1,000円 (全席指定) お問い合わせ : 和田美代子さん 044-766-9069</p>
	8日 (土) 開演 19:00	<p>横浜少年少女合唱団 2005年定期演奏会 世界のうた 女声合唱組曲「100のこどものうた から 萩原英彦作曲 「ミサ・プレヴィス」 モーツァルト作曲 卒業アルバム」 松下耕作作曲</p> <p>指揮 : 館雅之 ピアノ : 島田桂子 会場 : 横浜みなとみらいホール 大ホール 入場料 : 1,500円 お問い合わせ : 島田桂子さん 045-761-0198</p>
	9日 (日) 開演 14:00	<p>グロリア少年合唱団 少年たちのレクイエム~ 2006年 ポルトガル・スペイン演奏旅行 プレ公演~ 「レクイエム」 モーツァルト作曲 「荘嚴ミサ (ミサ・ソレムニス)」 モーツァルト作曲ほか</p> <p>指揮 : 松村努 演奏 : グロリア室内オーケストラ オルガン : 安原恵 ソプラノ : 櫻井悦代 アルト : 前田美樹 テノール : 服部陽介 陣内俊生 バス : 戸川博樹 コーラス : グロリア少年合唱団 グロリア男声合唱団 会場 : 鎌倉芸術館 大ホール 入場料 : 2,500円 お問い合わせ : 松村さん 045-825-0522 (Tel+Fax) http://gbc.jp.org または鎌倉芸術館チケットセンター 0467-48-5500</p>
	10日 (月祝) 開演 14:00	<p>まほろば 煌 (きらら) コンサート零 " ~ よたびめの ~ 女流作曲家展 <朝岡真木子 北爪やよひ 岡本茂子 木下牧子 太田弥生 ></p> <p>女声合唱とピアノのための組曲「まほろばの大和しめわし」 朝岡真木子作曲 女声合唱による「100のメルヘン 愛する歌」 木下牧子作曲 ほか</p> <p>指揮 : 吉田孝古磨 ピアノ : 淵上千里 フルート : 新井力夫 会場 : 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料 : 1,500円 お問い合わせ : 竹中さん 0467-84-5747</p>

10 月	13日 (木) 開演 13:30	<p>コールダンヘル男声合唱団 福女こら女声合唱団 ジョイントコンサート 混声合唱：中勘助の詩から」多田武彦作曲 混声合唱：あざみの歌」与作」ピンクレディーメドレー ほか 女声合唱：赤い花 白い花」無縁坂」逃避行 ほか 男声合唱：知床旅情」明日があるさ」ふるさとの四季をうたう ほか 指揮 磯村慎一 ピアノ 安達治代 特別出演 楽友会 会場 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場無料 お問い合わせ 守谷さん 045-871-2312 または 今井さん 045-231-7866</p>
	22日 (土) 開演 14:00	<p>女声合唱団 松』FETH CONCERT 金子みすゞの詩による五つの詩曲 三善晃作曲 「ロスタルジア」信長貴富作曲 九州民謡によるコンポジション 小林秀雄作曲 展覧会の絵」ムソルグスキー作曲 甲田潤編曲 日野秀夫作詩 指揮 松村努 ピアノ 織田祥代 会場 鎌倉芸術館大ホール 入場料：1,500円 (学生 800円) お問い合わせ 細村和子さん 0467-44-1569</p>
	22日 (土) 開演 14:00	<p>三ツ沢合唱団 54周年記念演奏会 女声合唱組曲 亡の地上」高野喜久雄作詩 高田三郎作曲 オペレッタ 男と女のいろいろシーン 黒い森の乙女」ポンパドール夫人 ほか 三ツ沢合唱団 ちかごろの愛唱歌集 空の果てに」ていんさぐぬ花」ほか 女声合唱組曲 淡彩抄」大木惇夫作詩 別宮貞雄作曲 山崎岩男編曲 指揮 山崎岩男 ピアノ 野澤清水 ソプラノ 嶋崎裕美 バリトン 山崎岩男 会場 県立音楽堂 入場料：1,000円 (全席自由) お問い合わせ 新居さん 045-312-2575</p>
	23日 (日) 開演 14:00	<p>まどかコーラス 第14回演奏会 Missa in G op.187」JG Rheinberge作曲 海鳥の詩」更科源蔵作詩 廣瀬量平作曲 女声合唱とピアノのためのセレナーデ曲集 より 「La Serenata」 「Serenata」ほか 女声合唱組曲 キュイジーヌより 吉岡弘行作曲 「インド風チキンカレー」ほか 指揮 石井康男 ピアノ 久野圭子 会場 平塚市民センターホール 入場料：1,000円 お問い合わせ 斎藤澄子さん 0463-59-6816</p>
	27日 (木) 開演 19:00	<p>アンサンブル・プラムベリー 第8回ポップス・コーラス・コンサート シンガーソングライター (男性編) 世界に一つだけの花」秋桜 ほか 火曜サスペンス劇場の主題歌たち リナミズキ」聖母たちのララバイ ほか カーペンターズ 愛を唄う 「Top of the world」ほか ヘンリー・マンシーニ 魅惑のスクリーン・ミュージック 「Moon River」ほか 指揮 吉田孝古磨 ピアノ 宮怜子 フルート 小林悦巳 会場 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料：1,500円 (全席自由定員制) お問い合わせ 久米田三智子さん 0467-86-9766</p>

<p>10 月</p>	<p>30日 (日) 開演 14.00</p>	<p>コーロ・アンナ&アンサンブル・ホフマング 1st ジョイントコンサート M issa b rev is "PRO PACE" Vytautas M iskinis作曲 金子みすゞの詩による「氷と影」 小林秀雄作曲 愛の名曲集 愛のあいさつ エルガー作曲ほか 愛の風船 中村千栄子作詩 大中恩作曲 指揮 川上勝功 ピアノ 浜田揺理 須江太郎 オルガン 浅尾直子 会場 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料 :1,000円 お問い合わせ 辻 ちぐささん 045-481-8173 または 花田彩子さん 045-321-9949</p>
	<p>30日 (日) 開演 14.00</p>	<p>第2回川上久美子ファミリー・ジョイントコンサート 女声合唱組曲 古都幻想より 岩河三郎作曲 混声合唱のための 日本民謡北から南から 笹倉重男編曲 イタリア歌曲集より 青島広志編曲 女声合唱組曲 萬葉 防人の歌 手放れ惜しみ 中島はる作曲 指揮 川上久美子 箏 千葉暢 尺八 川俣夜山 ピアノ 原澤真弓 鈴木美恵子 島田順子 小菅聖名子 演奏 :アルジェント横浜 逗子混声合唱団 混声合唱団コールベレーン 逗子女声合唱団 会場 横浜みなとみらいホール 大ホール 入場料 :1,000円 お問い合わせ 北村薫さん 046-873-4123</p>

コンサートガイド掲載要項

神奈川県合唱連盟に所属していれば、この「カノン」にコンサートのお知らせを無料で掲載することが出来ます。是非ご利用ください。掲載希望の方は下記の項目を記したものを郵送かFAX、またはe-mailにて編集室までお申し込みください。ただし、掲載は1演奏会につき一度だけとさせていただきます。(送り先は巻末に記載)
 掲載項目：1.開催日時 2.合唱団名(会員番号も列記してください) 3.演奏会名称
 4.ステージ・曲目(作詩・作曲者名も記してください。紙面の都合で全て載せられないことがあります)
 5.出演者 6.会場 7.入場料金等 8.問い合わせ連絡先

カノン発行月と原稿締め切りの予定

春号 4月10日発行予定 (〆切り：3月20日) 夏号 7月10日発行予定 (〆切り：6月20日)
 秋号 10月10日発行予定 (〆切り：9月20日) 冬号 1月15日発行予定 (〆切り：12月20日)

新しいレパートリーを楽しもう「世界合唱シンポジウム」サテライトシンポジウムのご案内
 「世界合唱の祭典 京都(第7回世界合唱シンポジウム)」の講師として来日される世界第一人者を東京にお招きして「サテライトシンポジウムIN東京」を開催し、私たちが接する機会の少ない分野の合唱を指導していただきます。新しいレパートリーに楽しくチャレンジしてください。

「ヴォーカルジャズアンサンブルのテクニク」ドウウェイン・デイヴィス氏(アメリカ)
 ヴォーカルジャズアンサンブルを効果的に演奏するための様々なテクニクについて曲を用いてレッスンしていただきます。

「東南アジアの合唱・フィリピンの現代作品を歌う」ジョナサン・ヴェラスコ氏(フィリピン)
 東南アジアの合唱文化の背景と合唱作品を紹介し、日本でも最近取り上げられるようになってきたフィリピンの現代作品を指導していただきます。

(2会場で同時に開催します。また講師との協議により内容が変更になる場合があります)

日時：8月7日(日) 13時~17時

会場：浜離宮朝日ホール(音楽ホール、小ホール)都営地下鉄大江戸線 築地市場駅下車

受講料：3000円(8月6日の「BBCシンガーズ・コンサート」をお聴きの方は2000円)

主催：東京都合唱連盟・朝日新聞社

お問い合わせ：〒104-801東京都中央区築地5-3-2朝日新聞東京本社内 東京都合唱連盟事務局

電話 03-3544-5433

8月6日(土)BBCシンガーズ演奏会 19時開演 東京芸術劇場(池袋)

入場料：S5000円 A4000円 B3000円

チケットぴあ扱い

東京都合唱連盟サテライトシンポジウム委員会 野村 維男(NOMURA Tsuguo)

巻末特集 第7回世界合唱シンポジウム京都大会へのお誘い・8

とうとう、いよいよ、ついにやって来ます！世界合唱シンポジウム！！皆さんはもう登録済ませましたか？宿の予約は？京都への足は確保できましたか？とうとう今月に迫った合唱シンポジウム本番。今回は目前、最終追い込み特集だ！

パラハンガン・カトリック大学合唱団

(インドネシア)

1962年、学生の音楽的才能や鑑賞力を高める場として設立された。大学の儀典部に属するが、学位授与式入学式といった学内行事などで演奏するだけでなく国内外での演奏活動も活発。インドネシア合唱コンクールで3年連続優勝を果たすと同時にアルンヘム(オランダ)で開催された95年国際合唱コンクールでは最高点を記録した。最近ではマルクトオーバードルフ(ドイツ)での2003年第8回国際室内合唱コンクールで第1位に輝き同時に、宗教合唱作品について最も優れた解釈を示したことが評価されて「グスタヴ=シャルリエ賞」も受賞。指揮者アヴィブ・ブリアトナは国際的にも数多くの賞を授与されている。

7月29日(金)イヴニングコンサートに出演

ラ・グラス(コンゴ民主共和国)

コンゴ首都の福音教会の聖歌隊指揮者の中から選ばれたメンバーで構成される、4名の混声合唱団。主なレパートリーはアフリカ・ゴスペル、コンゴのポピュラーソング、伝統音楽で、多数の音楽祭に出演。また、演奏活動だけでなくセミナーやワークショップで唱法の普及にも努めている。指揮者アンブローズ・クア・ンザビ・トコは初代コンゴ合唱協会会長(現職)。キンシャサを中心にコンゴ内外で数多くの合唱団を指揮しているほか、作・編曲家としても活動。合唱の機関紙カンテムスを編集し、長年コンゴの合唱運動に関わった人たちの記念祭を開催するなど、アフリカ合唱音楽の普及に情熱を傾けている。

7月29日(金)イヴニングコンサートに出演

スコラ・ゴティア(スウェーデン)

1999年結成の女声四重唱団で、レパートリーの中心はグレゴリオ聖歌と14-15世紀の初期の多声音楽。当時の写本の研究をもとに演奏に取り組んでいるのはもちろんのこと、中世の慣習に従って、大型の譜面台に置かれた「クワイア・ブック」と呼ばれる一冊の楽譜を4人で囲みながら歌い、さらにはコスチュームも当時のレプリカを着用するなど、中世のオーセンティックな演奏スタイルを重視した演奏活動を続けているグループである。リーダーのウルリケ・ハイダーはオランダで古楽を学んだドイツ生まれの音楽家。指揮者、オルガニストとしても活動している。彼女以外の3人はいずれもスウェーデンのイエーテボリ音楽院の出身。

8月1日(月)夜のスペシャルに出演

広東実験中学校合唱団(中国)

1952年に結成された、中国で最も優れた学生合唱団のひとつ。広州代表として各種国内コンクールに参加し、多くの賞を受賞。広州学生合唱コンクールでは9回連続第1位受賞という抜群の成績をあげた唯一の合唱団として、模範合唱団の称号を与えられた。2000年オーストリアで開催された第1回合唱オリンピックでは青少年合唱団部門とア・カペラ民謡部門で第1位、現代音楽部門で第3位を受賞。このほか、音楽の友好使節としてドイツ、オーストリア、ベルギー、日本、韓国、台湾など各国を訪問して演奏、高い評価を得ている。指揮者はシェイ・ミンジン

7月29日(金)アフタヌーンコンサートに出演

オランダ・ユース合唱団(オランダ)

1996年に設立された20人の学生からなる女声合唱団。その多くは、オランダ声楽家協会が共に運営するオランダ児童合唱団の卒団生で、幼少期から一貫して同じメソッドの音楽教育を受けているのが特徴。団員がプロのコーラス歌手の道を歩むことを目標としているだけあってメンバーの技術的な能力の高さへの信頼は厚く、オランダ室内合唱団オランダ放送合唱団などに人材を輩出している。2001年、スペインのトロサ国際合唱コンクール・アンサンブル部門で、宗教曲の部第2位、世俗曲の部第1位を受賞。芸術監督は指揮者のヴィルマ・テン・ヴォルデ。顧問委員にエリック・エリクソン(スウェーデン)とトン・コーブマン(オランダ)が名を連ねる。

7月29日(金)アフタヌーンコンサートに出演

これまで紹介してきた合唱団の中で「カルミナ・スロヴェニカ」の来日が中止になっています。また、他に特別招待合唱団としてイギリスの「BBCシンガーズ」が、8月1日のスペシャルコンサートと3日のクロージングガラコンサートに出演するほか、鎌倉、池袋でもコンサートを開きます。日本からは「パッハ・コレギウム・ジャパン」が7月28日に出演します。

「世界合唱シンポジウムのための10円募金について」

この世界合唱の祭典を成功させるために、「10円募金」という形で皆様にご協力をお願いする次第です。どうぞご理解のほどお願い申し上げます。(社)全日本合唱連盟理事長 吉村信良

編集後記

前回から毎回の発行日を早めることにしたにも拘らず、担当者2名が相次いで夏風邪でダウン。ハーモニーの発行に合せて、ハーモニーが出来るだけ早くお手元に届くようにと、早めの発行を準備していましたが早くも遅れてしまいました。「コンサートガイド」では「アンサンブル・ナウ」さんの告知が間に合わないと言う最悪の事態になり関係者の方々にご迷惑をお掛けしたことをお詫びいたします。今後も体調管理を含め、気を引き締めて編集にあたる所存です。それにしても、有り余る体力と押しの強さを誇る我が編集部が夏風邪とは・・・。どうやら原因の一つとして合唱祭のスタッフ皆勤賞が挙げられています。二人とも汗だくになって、あの狭い神奈川県立音楽堂のウラを飛んで歩いてましたからねえ。。。

ところで、合唱シンポジウムがいよいよ開幕ですね。@担当は一泊3日の弾丸ツアーでとにかく覗いて来ようと思っっています。うまく行けば次号で大会の雰囲気をお伝えできると思います。では、皆様も体調管理にお気を付けて！

神奈川県合唱連盟 情報誌「Kanon(カノン)」

編集・発行 神奈川県合唱連盟・カノン編集委員会

神奈川県合唱連盟・事務局

発行責任者 桑原妙子

〒231-0021

横浜市中区日本大通15 朝日会館ビル4F

045-681-6033(FAXとも)

ホームページURL: <http://homepage2.nifty.com/kanagawakenren/>

メールアドレス: kanagawakenren@nifty.com



Japan
Choral
Association
KANAGAWA